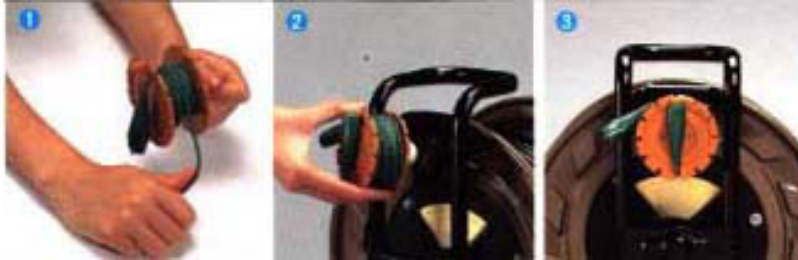


## EA815MS-30 メタルセンサーリール(漏電遮断器付)

- ご使用になる時は、アースリールの白いつまみを持ってアース線をひっぱって伸ばしてください。リールは自然に回転するのでラクに伸ばすことができます。
- アース線を巻き取る時は、白いつまみをにぎり、リールが回転しないように固定して手巻をしてください(写真①)。巻き終わったらリールの円盤のきざみで止めてください。
- アースリールの収納は、本体裏側のひょうたん型の穴に白いつまみをはめこみ(写真②)、下へ押し下げればガッチリと固定します(写真③)。本体と一体化して持運びに便利です。



### ①メタルセンサー

ドリルの先が金属に接触すると、0.1秒以内すばやく反応する金属感知器です。①のメタルセンサースイッチを遮断・警報にすると、メタルセンサーにより警報ブザーが鳴り、同時に漏電遮断器がはたらいで電源を遮断します。警報にすればブザーだけがなります。切にするとメタルセンサー機能は働きません。

### ②漏電遮断器

スイッチを上げればONになり、漏電を感知すると電源を切ります。すぐ下には作動を確認する、テストボタンが付いています。

### ③警報ブザー

メタルセンサーが金属を接触感知すると、ブザーがなります。

### ④コンセント

100V2P接地式のコンセントです。

### ⑤接地端子

電動工具のプラグが接地式でない場合は、アースグリップをこの接地端子にはさんで、アースを取ってください。(アースを取りませんと、メタルセンサーは作動しません。)

### ⑦アースチェックテストボタン

このテストボタンを押し、点灯した⑧のランプの色でアース線が完全に接触されているか、極性は合っているかを確認することができます。

### ⑧アース・極性チェックランプ

(⑦のテストボタンを押し)このランプがグリーンに点灯すればアース・極性とも正しい状態です。もしオレンジに点灯したら極性が逆にセットされていますので、直してください。また点灯しない場合は、アースが取れていませんので、接地の確認をしてください。

## 操作順序

①コードリールを電源に接続する時は、必ず接地極Ⅱにつないでください。〈図1〉  
もしコンセントで接地のない場合は、付属のアースリールを使用して、地中接地物などでアースを取ってください。〈図2〉



接地極付の場合

②使用する電動工具は、アース付(接地極付)のタイプをご使用ください。もし、2Pアースグリッ付のタイプであれば、アースグリッを接地端子にはさんで〈図3〉アースを取ってください。

③漏電遮断器のスイッチを上にあげて、ONにします。

④メタルセンサースイッチを遮断・警報、警報のどちらかにセットしてください。〈図4〉切にセットしますとメタルセンサー機能は働かず、通常の漏電遮断器付コードリールとなります。



⑤テストボタンを押して、アースや極性が正しいかを確認してください。

形式		EA815MS-30
電線仕様	長さ(m)	30
	種別・太さ(mm <sup>2</sup> ) 心数(C)	ソフトンVCT 2.0×3
	許容電流(A)	15
コンセント仕様	定格	2P・15A・125V 接地付
	形状	Ⅱ
	個数	2
メタルセンサー仕様		接地抵抗固定式
漏電遮断器仕様		漏電地絡保護専用型 2P100V30A 15ma感度
アースチェックパイロットランプ	アース	●
	極性	●
パイロットランプ		●
接地端子		●
アースリール		●
重量(kg)		9.6

\*アース付のプラグにはK-2PE  
接地アダプターが付いています。  
\*全機種 41-13315鉄板製  
\*仕様は品質向上のため、予  
告なしに変更する場合があります。